

## News

### クリスマス

クリスマスということで12月25日にクリスマスツリーを設置した。今年初めて冬らしい光景を見たように思う。ツリーはすぐに収納されてしまったが、電飾で、一時だが研究室が華やいだ。



クリスマスツリーを飾りつけする竹本孝多(M1)。

### 超☆大掃除

12月25日のクリスマスに超☆大掃除を行った。普段の掃除や月末の大掃除では掃除できていないデスクの下やエアコンのフィルターなどの掃除を徹底的に行った。



左から中村峻也(B4)、Epiphanie (D1)、榎田麻里(M2)、石原千聖(B4)の4人で机等を動かし隅々まで居住区の掃除を行った。



試薬を棚から出し埃を取り、整理して棚に戻すという途方もない作業をこなす清水遥河(M2、奥)と竹本(M1、手前)。慣れているため非常にスムーズに作業は進んだ。

超大掃除で一年間の汚れを隅々まで綺麗にすることができた。きれいになった研究室で来年も研究に励みたいと思う。

### Happy Birthday!

12月が誕生月のアンソニー(D3)と榎田(M2)の誕生日を25日にお祝いした。



誕生日ケーキをもつ榎田(M2・左)とアンソニー(D3)

**お誕生日おめでとうございます!**

### フリートークスペース

今月のフリートークは中村(B4)です! 中村イチ押しの小説を紹介してくれました!

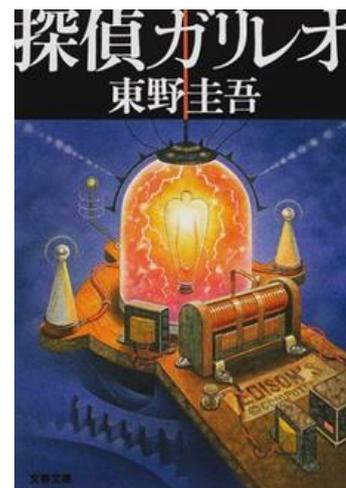
こんにちは、B4の中村です。私は読書が好きで色々なジャンルの小説を読むのですが、今回はその中でも特に好きなミステリー・推理小説からおすすめの本を紹介させていただきます。

- (1) シャーロック・ホームズ シリーズ (アーサー・コナン・ドイル)



「シャーロック・ホームズ」は海外の推理小説ですが、かなり有名なのでご存じの方が多いと思います。名探偵のホームズが助手のワトソンと共に数々の犯罪や謎を解き明かすというストーリーです。トリックはシンプルかつ奥が深い内容のものが多く、幅広い世代が楽しめるものとなっています。謎が解けたときの爽快感はもちろん、ホームズとワトソンの軽快なやり取りも見どころです!

- (2) ガリレオ・シリーズ (東野圭吾)



## 編集後記

12月はあっという間に過ぎていきました。年末年始のお休みでしっかりリフレッシュし来年も頑張りたいと思います。  
2021年も宜しくお願いいたします。

吉田 亘志(B4)

次は東野圭吾の作品である「ガリレオ」シリーズを紹介します。物理学者である湯川学が難事件を解決していくという内容となっています。トリックには物理学をはじめとした科学系のものが多く、理系の読者は特に楽しめるのではないかと思います。長編のものもありますが、短編集となっているものが多く、手軽に読み進められるというところもポイントです！

(3)そして誰もいなくなった (アガサ・クリスティー)



最後は再び海外ミステリー、「そして誰もいなくなった」です。アガサ・クリスティーは他にも「オリエン特急殺人事件」や「アクロイド殺し」など有名作品が多くある作家です。この作品は、孤島に集められた互いに面識のない十人の人間が一人、また一人と犠牲になっていくという内容のもので、徐々に高まる緊張感を味わうことができます。また、私はこのシンプルかつストーリーへの想像が掻き立てられるタイトルが素晴らしいと感じています！

以上、私が個人的にお勧めしたいミステリー・推理小説でした。これ以外にも面白い作品は数多くあるので、皆さんもぜひ自分のお気に入りを見つけてゆっくり読書を楽しんでみてはいかがでしょうか！